



新春に想ひ

今年はこのことがやりたい

水保自治会

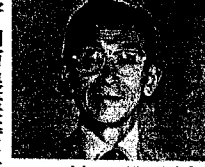
自治会の活性化のための組織作りと、全員参加による年間の諸行事については、ほぼ達成された。ただし、今後の新事業への展開の課題は、自治会費に頼らない財源の確保に努力すべきだと考えます。



小山豊博

人権擁護委員

人間生まれながらにして平等の人権と尊厳を授けられている。「我が身をつねって人の痛さを知る」万物を別け隔てなく照らす太陽のような心をもった人が多くなる社会になるよう祈ります。



小山豊吉郎

守山市農業委員

農地には、職場として、また、資産としての両面の顔があり、職場価値は変貌しているが、地域の力としての重みは不変です。先祖から受け継いだ郷土の保全、有効利用のためがんばります。



今井省三

各種婦人団体連絡協議会

ゴミ持ち出しのマナーもかなり良くなっていますが、今後も資源ゴミの分類等各自が気をつけて出してください。啓発活動を拡大していきたいと思えます。



今井信子

水保実行組合

新年あけましておめでとうございます。今年も、昨年十一月一日に新食糧法が施行されましての一年目にあたり、米価が安定しますようお願いいたします。



今井寿一

明富中学校PTA

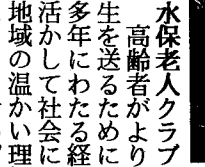
昨年度は中学校PTA活動にご協力をいただきました。本年度も地域活動に積極的に参加していきたいと思っております。



下村宗行

速野小学校PTA

個々の心のつながりが希薄な現代社会において、地域の皆様のご協力を得て、健康で健全な心の児童の育成を目指したいと考えています。



西村雅行

水保老人クラブ

高齢者がより健康で充実した人生を送るためには、高齢者自身が多年にわたる経験と知識、技能を活かして社会に貢献すること、地域の温かい理解と支援がなくてはなりません。本年は更に、会員並びに役員各位の温かいご協力を願い、クラブの強化に努め、高齢者の多様なニーズに応える活動づくり、体制づくりを図り、活気あふれるクラブ活動を展開したいと思っております。



今井盛隆

まちづくり推進委員会 今井浩二
啓発看板の設置に取り組みたいのです。そのためには、町民の方に標語をお願いしたい。特に事故防止、非行防止の二点については是非ご協力をお願いいたします。



今井道雄

義勇消防隊

あの地震から早一年、それに伴う火災も発生し改めて自然の偉大さ、恐ろしさを痛感させられた。我々の活動を通じ消防訓練、防火意識の向上に一層の充実を図りたい。



今井好美

水保婦人消防隊

毎月一回の消火訓練、器具点検等の活動をますます充実し、その活動に基づいて、地域の皆さんにも広く防火意識の浸透を図りたいと思っております。



今井利雄

農業集落排水事業組合

十月中旬頃、水道管の布設工事が始まる予定です。そのため通行止めになる箇所が出てきます。町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程をよろしくお願いいたします。



今井利雄

賀正



どうなる！
これからの生産調整

昨年の十一月一日から「新食糧法」が施行され、新しい米の仕組みが動き出しています。新食糧法では、生産者の自主性を活かした稲作生産や、市場原理の導入、規制緩和を通じて流通の合理化を図ることとしており、政府の役割が限定され、民間の役割が大きく求められています。このことから、生産調整に對して、「売る自由・作る自由が認められ、生産調整をしなくてもいいのでは……」とのムードがあります。しかし、本当に生産調整をしなかったら、どうなるのでしょうか？

◎ 米の潜在的生産力
日本の水田約二百七十万ヘクタールにすべて水稲が作付けされるとすると、平年作で約千三百五十万トンの米が生産されます。しかし、日本の年間米消費量は約九百九十万トンに過ぎず、年間で三百六十万トン程度の過剰米(生産過剰率 約百三十六%)が生じることになります。

◎ 生産調整への考え方
全員参加による生産調整の確実な実施！
①新食糧法下での米の生産過剰は、価格の下落・売り残り・翌年度以降の生産調整の強化や、調整保管の経費負担という形で生産者自身に跳ね返ってきます。このことから、米の生産量が消費量を上回っている中では、需給と価格の安定を実現させ、農業所得を確保していくために引続き、需要に見合った計画的な生産調整が必要であり、生産者自らの自覚の確実な実施に取り組みする必要があります。

らの課題とし、主体的に取り組むことが必要であり、地域的にまとまりのある生産調整の推進を行うために、集落での話し合いにより集団栽培による小麦・大豆を中心とした転作の集団化・団地化を推進する必要があります。
(新食糧法の会議資料から)

集落営農・ビジョン
営農部 部長 村井巳紀

ライスメイトからの報告
とお願ひ

町民の皆様、あけましておめでとうございます。皆様方も健康にて新年を迎えられ、お喜び申し上げます。さて、ライスメイトも充足から早一年経過しました。組合員さんも昨年六月までに新たに三戸加入いただきました。そこで、昨年一年間の作業内容をお知らせします。

トラクター作業	5. 8 鈎
田植え作業	1. 1. 8 鈎
刈取り作業	2. 4. 6 鈎

以上のとおりです。
平成8年に新たに、組合に加入される方は、2月末日までに加入申し込みをライスメイト役員、または、運営委員まで申し出てくださいます。よろしく。
ライスメイト運営委員一同

平成8年1月

1	義勇消防隊 出初め式
2	婦人消防隊
3	左義長
4	成人式祝賀伝
5	子ども会カクタ大会
6	晩会ボーリング大会
7	子ども会竜王スケート
8	互助会ボーリング大会
9	婦人会総会

主な行事予定(カレンダー)

明るく住みよい
水保まちづくりを目指して

菅農ビジョン研修部
部長 今井 薫

あけましておめでとうございませう。平素は研修部の諸活動に深いご理解を賜り紙面をお借りしてお礼申し上げます。

研修部の今後の取組内容と方向についてご報告申し上げます。

昨年度に引き続き三本柱でもって推進しております。

一、「同和入権研修」

昨年度は、リーダー研修会をシリーズで三回行い、二十六名の方々が守山市教育長から修了証書を授与されました。隣組の人権学習を二組づつ計四回実施し、オピニオンリーダーの協力のもとに初期の目的どおり、「明るく住みよいまちづくり」に一步前進した成果をあげることができました。

本年度は、後半の隣組研修会と階層別研修会を企画しております。

二、「青少年の健全育成の活動」

速野学区の活動と連携をとりながら、有害物品の自動販売機の撤去活動に取り組みました。特にツッシュョットカード等の有害性・こわさを目と身体で感じ取ってもらおうと、自治会長及びまちづくりの役員の方々といっしょに夜間パトロールを行い啓蒙を図りました。

今後は、地域社会の教育力のアップと充実を図っていききたいと考えています。

三、「一般研修」

昨年は、「知って損をしない税務知識」のタイトルで皆様方のニーズに添えて、タイミング良く研修会を実施しました。

今年度は、「今、あなたの家庭は」と題して、有名な山本富夫先生の講演を予定しております。

今後は、「魅力ある、為になるそして今知りたい」内容になるよ

うにと考えており、皆様方のご意見をお待ちしております。

特記事項として、昨年度は水保町での同和入権学習の取り組みを行い、速野学区代表として、八月十九日に市民会館で報告をいたしました。その結果、さらに市の代表として、十月二十二日に滋賀県大会において発表を行い大反響を呼びました。その後、各地から水保町に視察の申し出があり、十二月二日に野洲町から五十一名の方々に来られ、相互研修の場として成功裡に終えることができました。

今後は、「心のまちづくり」を基本理念としてニーズをしつかり捉えていきたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「コスモス街道」の立寄駅設置

花の町、水保コスモス街道の立看板が、去る十一月二十六日に新たな町内入口「市道二十三号線」道路の東入口（今井昭太郎さん宅東付近）に設置されました。

なお、この「市道二十三号線」は正式には未開通ですが、近日中にこの道路の入口付近を拡幅し、さらに車の見通し状態を良くする安全対策を充分確保したのち開通されますので、今しばらくお待ちください。



「天神橋前の道脇」の立寄駅設置

わが水保まちづくり推進事業の一環として計画されていきました、町内花壇道路創設の一部として、天神橋の道路脇に花壇が出来上がりました。

まず、花植えのスタートとして、十一月末日に季節の花「葉ばたん」三百本を植えられました。

当日は、朝から自治会役員と各種の婦人会の役員さんのほか多数の方々のご共同作業により、見事な花壇となりました。

なお、この花壇の設置は、自治会から申請されていきました市の助成金によりできたものです。

これからの成長が楽しみです。



サークル紹介

◎ 気功体操

一億総半病人といわれる現代、手軽にできる健康法に関心があります。これなら私にもできるのでは？」と始めた気功体操。

現在メンバーは二十名で、ほとんどが水保町の三十代から六十代の女性です。

毎月第一・第三水曜日の午前中に、速野会館で井入ます枝先生の指導を受け実施しています。

新成人の紹介

平成八年度は、次の七名の方が新成人となります。

おめでとうございます。（敬称略）

今井 雅人	(元春)
小嶋 卓二	(靖則)
下村 哲矢	(宗行)
田中 恭世	(才一郎)
西村 久美子	(好実)
西村 竜二	(好正)
藤田 ひとみ	(新一)

成人式祝賀使節に声援を

一月十五日(祝)

九時 スタート

水保愛郷会チームとして、次の選手が各区間で力走します。

- 北村久雄 (旭花)
- 今井保智 (野洲河川公園)
- 北村一博 (野洲河川公園)
- 北村俊彦 (明富中学校)
- 下村信一 (地域総合センター)
- 今井薫 (三毛東バス停)

昨年は全82チーム中、29位と健闘しました。今年にはコースの一部が変更となり、第三区では明富中学校から水保町内を駆け抜けるコースとなりました。我が水保チームだけでなく、全チームに温かいご声援をお願いします。

なお、水保町内の通過予定時間は、午前九時四十分頃です。

ゆったりとした動きで心身共リラックスする体操です。思ったよりむずかしく、先生の真似をするだけで精一杯です。気功を続けていると年齢より若く見えるとか？

気長に続けることを目標にメンバーは今、静かに燃えています。

(代表 Y・K)

謹賀新年

本年もどうぞよろしく
お願いいたします
広報部一同

平成八年の運勢

今年、年初から「水火相闘」の波乱に満ちた幕開けとなり、景気はところによって暗れまたはどしゃ降りという混沌模様が続きます。今年後半にはいくらか落ち着きは見えませんが、本格的な景気回復の兆しは見えませんが、環境破壊が進むにつれて異常気象が指摘されるようになり、今年気象の変化が多くて定まらず、気温の上下幅が大きく遅霜の心配もあります。

降雨量は多目で、特に梅雨時は雨量も多くうっとうしい日が続きます。夏は非常に蒸し暑く不快指数が高くなるようです。

秋の台風は上陸する数は多くないようですが、強風、大雨に注意が必要です。風水害による被害、伝染病の流行、そして地震に伴う火災、火山噴火などに注意をするところでしょう。

目先の変化に惑わされず「あわてず、焦らず、時にはじつと我慢」の姿勢が必要で、

「運勢宝鑑」東洋運勢学会 参照

水保まちづくり推進委員から
懇話会集についてのお断り

わが町水保町の住みよい環境づくりの一環として、街角に立て看板の設置を計画しております。

なるべく多く、皆様の参画意識を高めていただきたく標語やアイデアを募集しております。

どしどし応募をお願いします。

(記名・無記名は自由です。)

標語の内容は、

- 交通安全を呼びかけるもの。
- 非行防止に関するもの。
- 明るく住みやすいまちづくりを啓蒙するもの。

についてお願いいたします。

作品は、集落センター玄関横の広報部「投稿箱」へ、または、まちづくり推進委員(今井浩二)までご提出をお願いいたします。